

# 勉学の旗

(高須中学校だより)

令和元年7月12日号 高須中学校長 山口和久



## 2年生農村宿泊体験学習にて

6月26日～28日、2年生農村宿泊体験学習が大分県宇佐市安心院で行われました。天候がとても心配され、様々なところに安全確認をしながらの出発でした。が、3日間、心配した大雨や台風の影響もなく、無事に体験活動を行うことができました。

この学習には大きく2つの活動があります。1つは、受け入れ家庭と交流するという活動です。見ず知らずの受け入れ家庭で3日間過ごしますが、これはお互い大変なことです。でも、この出会いが、一生の出会いになる場合もあります。体験学習が終わっても、手紙のやり取りをしている生徒はたくさんいます。

もう1つは、仕事を体験する活動です。仕事をしてお金を稼ぐことがいかに大変なことか。家事をして家族の為に働くことがいかに大変なことか。ただ、これらの働く人たちがいて、我々の生活が成り立っていることは間違いのない事実です。生徒の皆さんは、仕事を手伝ってみてどうだったでしょうか。

2年生の皆さんが今回の体験を通じて、日頃は当たり前だと思っているお家の方々の愛情に少しでも気づいたり、この体験で感じたことを少しでも学校生活の中で生かしたりすれば、この体験は素晴らしく有意義なものになります。

(生徒の皆さんの感想はPTA新聞に掲載予定です。)

## 通知表の教科の評価について

5月21日号でも書きましたが、中間考査や期末考査の点数は、生徒の皆さんの学力の一部をあらわしているものです。一方、生徒の皆さんに求められている「学力全体」を、まず観点ごとに評価し、それを総合してあらわしたものが通知表の教科の評定(5・4・3・2・1)です。この「学力全体」の中には、定期考査の点数だけではなく、授業中などの学びに向かう様子や、考えなどを表現する力、提出すべき物の内容などが当然のように含まれます。

定期考査の点数と通知表の評定は、そのような関係にあります。ですから、公立高校等の入試には、その時のその生徒の学力の一部を見る「学力検査」と、中学校でのその生徒の学力全体を見ようとする「調査書」があわせて使われるのです。

保護者の皆様には、そのような定期考査の点数と通知表の評定のことをご理解いただいた上で、通知表をご覧いただければ幸いです。

なお、本校の教科における評価の仕方については、詳細な文書が6月に出しておりますので参考にしてください。

## 夏休みに向けて

いよいよ夏休みが始まります。本当に誘惑の多い夏休みです。私たちの中学時代とは、当たり前ですが時代が違います。この夏休みを無事に乗り切る為には、保護者の方にも生徒の皆さんにも、ある意味決意が必要です。何か大きな言い方ですが、スマホ・ネットが発達した今、中学生の夏休みは本当に難しいです。

高須中学校では、1学期のまとめを行うとともに生徒の皆さんが充実した夏休みを過ごせるように、1学期末の保護者会を7月12日より設定しています。せっかくの機会ですので、気になることがございましたら遠慮なくご相談いただきますようお願いいたします。

なお、様々な場面でお知らせしておりますが、本年度から北九州市立の小中学校は夏休みが短くなります。本年度の2学期始業式は、8月26日(月)です。よろしくようお願いいたします。生徒の皆さんは充実した夏休みを過ごして、始業式に集まってください。

## 【 お知らせ 】

- 夏休み短縮の関係で、基本的に北九州市立の小中学校では「夏の教室」は本年度から設定されません。
- 学校一斉配信メール「いっせいくん」の登録がまだの方は、是非とも登録をお願いします。  
年度当初にもお知らせしておりますが、電話での連絡網等は作成・活用しておりません。登録されていない方へは、学校から個別の電話連絡をすることになります。特に9月の体育大会前後は、「いっせいくん」を活用して様々な配信を行います。まだの方は、できるだけ1学期中に登録いただきますようお願いいたします。  
なお、「いっせいくん」についての問い合わせは、学校(担当:教頭先生)までご連絡ください。

※ 紙で配布したものには、「農家の前で収穫した大根を手に」の写真が掲載されています。